

みなさんこんにちは!! 夏になりましたね～。皆さん夏といえば何を思い浮かべますか?  
♪♪夏がく～ればおもいだす～・・・♪♪という歌もありました(古い!!)海水浴、バーベキュー、金魚すくい、蚊とり線香、高校野球… 数えればきりがありません。最近では熱中症というあまりうれしくないのがありますね。食べ物ではスイカ、ウナギ、かき氷など思い浮かべます。

さてウナギといえば“どようのうしのひ”という言葉聞いたことがあると思います。若かりしころ佐々木少年は、“土曜の牛の日”だと思っていました。夏の土曜日には、牛の日というのがあって、その日にはどういわけだかみんな、牛ではなくてウナギを食べるのだと思っていました。今でも少し思っています。しかし少し調べてみると次のようなことがわかりました。まず“どようのうしのひ”は“土用の丑の日”と書くそうです。むずかしいですね～。まず“土用”ってなに? というのですが、これはあまり深く考えないほうが無難なようです。難しいことを少しいえば、立春、立夏、立秋、立冬という時期がありますが、それぞれの前の約18日間のことを言うそうです。難しいですね～。では“丑の日”とは?…。以前にお正月のお話をしました。その時、十二支のお話をしたと思いましたが、覚えていますか? ねー。うし・とら…というやつで、ほらもう“うし”がでてきました。これは佐々木少年の勘が少しあたってました。昔は牛のことを丑と書きました。先ほどの土用という18日間のなかで、ねー。うし・とらと数えて“うし”にあたる日が土用の丑の日となるということらしいところまでわかりました。ではもう一つの疑問です。なんで“どようのうしのひ”には牛を食べずにウナギを食べるのか? これにはいろいろ説があるそうです。まず、佐々木少年の説をお話しします。私の記憶では、生まれてからどちらを初めて食べたかという、ウナギのような気がします。私が焼肉屋さんに入社したのは、社会人になってからでした。ところが、昔はウナギ釣り(?)ができるお店が近くにあり、夏に親戚が集まり、だれかがそこでウナギをゲットしてきたのを食べるという夏の習慣がありました。いまではあまり見られませんね。そのような身近な食べ物がウナギですが、食べるとおいしくて、牛のように元気になるからだとずっと思っていました。

一般的に有名なところでは、平賀源内さんという江戸時代の発明家さんがウナギ屋さんの営業戦略として考案したといわれています。どちらを信じるかは皆さんにお任せいたします。と、ここまで土用の丑の日のお話をしましたが、なんと!! 今年の“土用の丑の日”は7月29日というのがわかりました。この“かわたれ”がみなさんのお手元につくころには過ぎており、すいません。まあ今年は値段が高いからまた来年とか言い訳も考えますが、いつ食べてもいいと思いますので皆さん体力をつけて夏を乗り切りましょう!! 今回はウナギの話をしていううちに工賃の話をする時間が無くなりました。ではまた次回…



所長 佐々木章吾